



国土省・2015年度補正予算 サ高住の整備加速



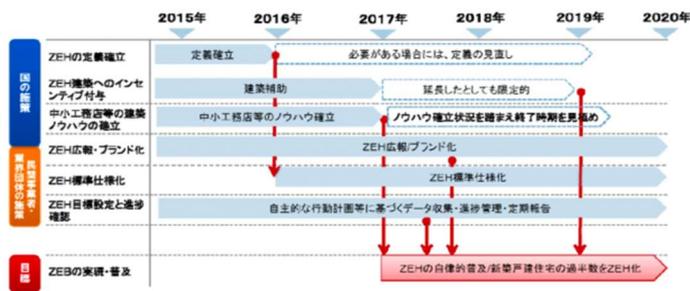
政府は12月18日、2015年度補正予算を閣議決定した。国土交通省としての国費総額は4736億円。

住宅関連では「一億総活躍社会」の実現に向けて、三世同居・近居がしやすい環境づくりを進めるほか、「介護離職ゼロ」を達成するためサービス付き高齢者住宅の整備に重点的な支援を実施する。サ高住の供給に際し戸当たり100万円としていた補助限度額を同120万円に引き上げると共に、「夫婦型」と「既存ストック型」の類型を新設。前者は同135万円、用途変更を伴う改修が前提となる後者は同150万円を補助限度額とする。

情報提供: 国土交通省

経済産業省、ZEHロードマップ検討委員会の取りまとめを公表

ZEH普及に向けたロードマップ



経済産業省は12月17日、エネルギー基本計画に明記されたZEH(ゼロ・エネルギー住宅)の政策目標達成に向けて設置したZEHロードマップ検討委員会による検討結果を取りまとめて公表した。

ZEHの目標については、2020年までに「ハウスメーカー、工務店等が施工する新築住宅の過半数がZEHとなること」を目指すことが重要と指摘した。また、集合住宅はエネルギー基本計画におけるZEHの目標の対象からは除外することが望ましいとした。

具体的施策としては、国が業界団体・民間事業者と連携して取り組むべき施策として(1)ZEHの定義・目標の確立(2015年度中)、(2)ZEH建築へのインセンティブ付与(2016年度～(遅くとも)2018年度)、(3)中小工務店等の省エネルギー住宅建築ノウハウの確立(～2017年度)、(4)ZEHの広報・ブランド化(2015年度～)、の4点を検討すべきとした。

また、業界団体・民間事業者が国と連携して取り組むべき施策として、(1)高性能化/低コスト化のための標準仕様の検討(2016年度～)、(2)ZEH普及の目標設定と進捗管理(2016年度～)、の2点について検討すべきとした。

そのほか、ZEHの普及促進に向けて、パッシブ設計に代表される高性能躯体設計や設備を適切に評価すること、快適・健康に住まいつつ賢くエネルギーを使用するライフスタイルなど運用段階も含めた取り組み、既築ストックのZEH化改修に関する取り組みの検討も不可欠であると指摘した。

情報提供: 新建ハウジング

省エネ化リノベに100億円 2015年度補正予算案



経済産業省は2015年度補正予算案に住宅省エネリノベーション促進事業を盛り込んだ。予算規模は国費100億円。高性能な窓、サッシ、断熱材などを用いた断熱改修を支援する。戸建て住宅の場合、断熱改修と同時に行う家庭用蓄電池や高効率給湯器などの高性能設備の入れ替え、導入に対する補助も行う。

情報提供: 新建ハウジング

断熱性能15%アップ、人と地球にやさしい断熱材

kaneka カネカ株式会社
高性能ノンフロン断熱材
カネライトフォームスーパーEX
JIS A 9511 A種 押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種
断熱性能が15%アップ。
断熱性能0.024W/(m・K)
さらなる省エネ化に貢献する、人と地球にやさしい高性能ノンフロン断熱材です。
優れた圧縮特性
押出法ポリスチレンフォーム保温板3種の圧縮強度確保
20N/cm確保
優れた安全性・環境性
15断熱性能合格
発泡剤のノンフロン化
PRTR対象物質のゼロ化を実現。

建設用総合資材の製造、供給を手がけるカネカ(大阪市北区/東京都港区)とカネカケンテック(東京都千代田区)は、断熱材「カネライトフォーム」とその複合製品を中心に、より快適な生活空間を作るため地球環境と住環境を両立する製品を展開している。

その中でも、高性能ノンフロン断熱材「カネライトフォームスーパーEX」は2006年の発売以来、リニューアルを経ながら、さらなる省エネルギー、住宅の長寿命化が求められる中で高い評価を得ている。優れた「断熱性能」と「圧縮特性」、「安全性・環境性」が特徴。

「断熱性能」では、熱伝導率0.024W/(m・K)を達成し、同社従来製品よりも15%の性能向上を実現。「圧縮特性」では、断熱性能を向上させる一方で、押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bの圧縮強さ20N/cm2を確保した。

「安全性・環境性」では、「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことを基準とする「JIS A 9511」の燃焼性規格に合格。「カネライトフォーム」の特徴である発泡剤のノンフロン化、PRTR対象物質のゼロ化を実現し、ホルムアルデヒドも含まない、人と地球にやさしい断熱材となっている。

情報提供: カネカケンテック